

2021年度 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

目次

I . 2021年度実績(連結)

II . 2022年度・業績および配当予想

I . 2021年度実績(連結)

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、表面保護材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

通期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2020年度	2021年度	前期比
売 上 高	41,199	41,879	+ 679
営 業 利 益	5,444	6,421	+ 976
経 常 利 益	5,841	6,914	+ 1,073
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,119	3,251	+ 131

為替レート

\$=105.95円
W=0.0917円

\$=113.06円
W=0.0968円

\$=ドル
W=韓国ウォン

・2022年3月期の期首より 「収益認識に関する会計基準」 (企業会計基準第29号)等を適用

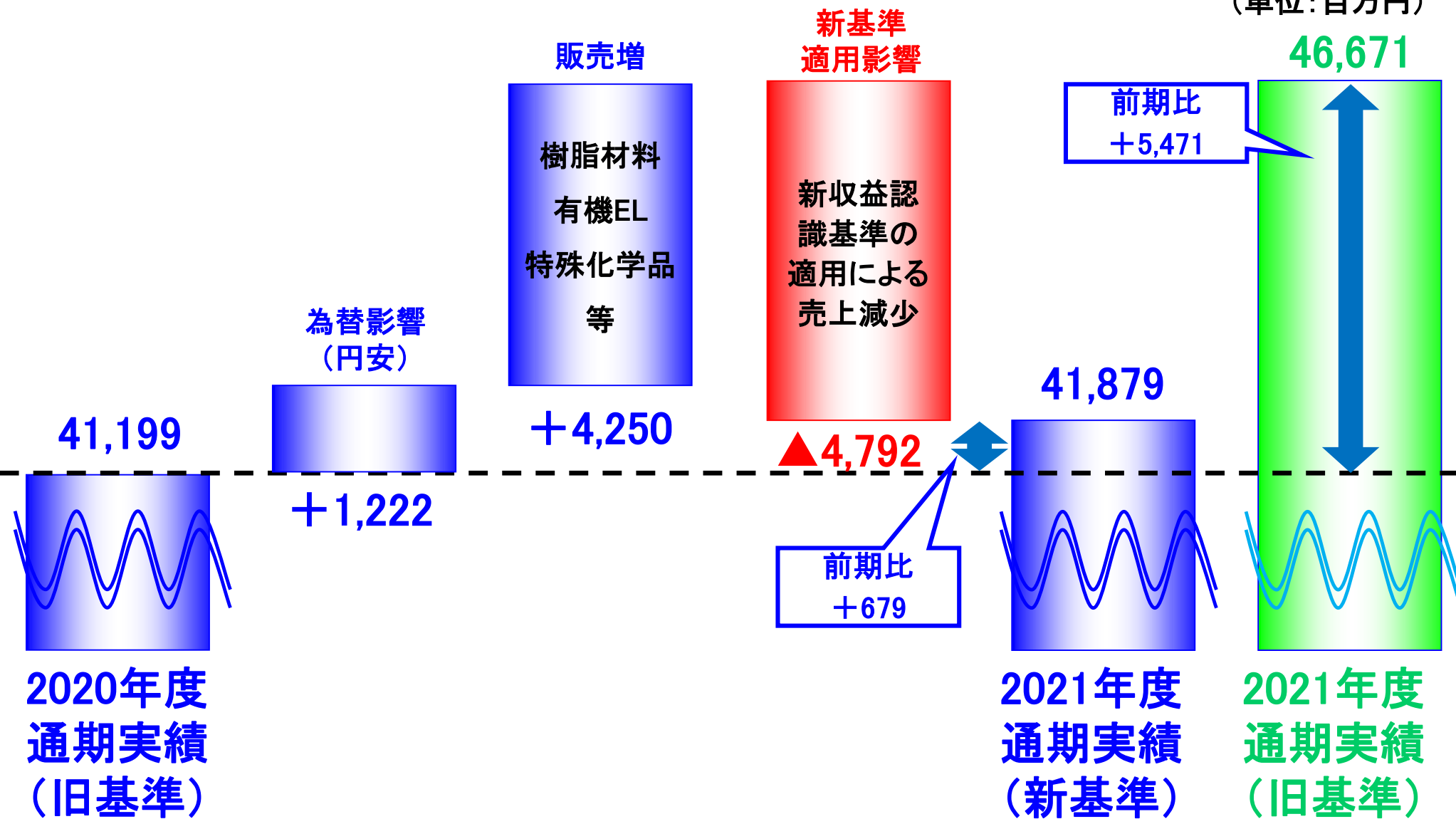
—2021年3月期:適用なし

—2022年3月期:適用あり

※当該基準適用により、

当連結会計年度の売上高は4,777百万円減少し、
営業利益は32百万円増加し、
経常利益は35百万円増加しております。

（単位：百万円）



- ・ **売上高**は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等の適用による減少があるものの、**機能性色素、機能性樹脂が増加し、679百万円の増収**
- ・ **営業利益**は、販売費及び一般管理費が増加したものの、**売上高の増加により、976百万円の増益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の増加により、**1,073百万円の増益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、**特別損失や法人税等が増加したものの、経常利益の増加により、131百万円の増益**

(単位:億円)

科目	2021年 3月末	2022年 3月末	増 減
(流動資産)	300	340	+39
現預金	94	109	+14
売上債権	120	124	+4
棚卸資産	83	93	+10
その他	3	13	+9
(固定資産)	325	324	▲0
有形・無形 固定資産	228	226	▲1
投資有価証券	82	79	▲2
その他	13	17	+3
合計	626	664	+38

科目	2021年 3月末	2022年 3月末	増 減
(負債)	189	185	▲4
仕入債務	41	47	+5
有利子負債	74	63	▲10
その他	73	74	+0
(純資産)	436	479	+42
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	+0
利益剰余金	141	168	+27
その他	96	111	+14
合計	626	664	+38

財務指標

・自己資本比率	61.8%	⇒	62.3%
・D/Eレシオ	0.19倍	⇒	0.15倍

有利子負債 74億円 ⇒ 63億円

現預金 94億円 ⇒ 109億円

通期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

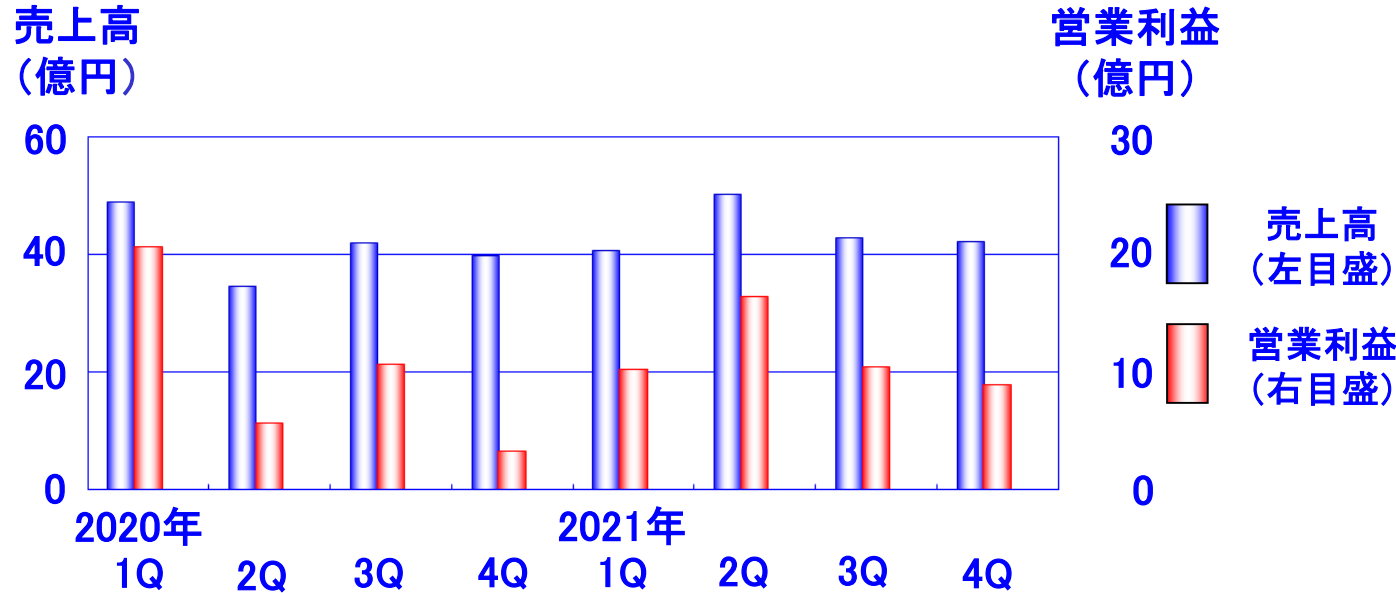
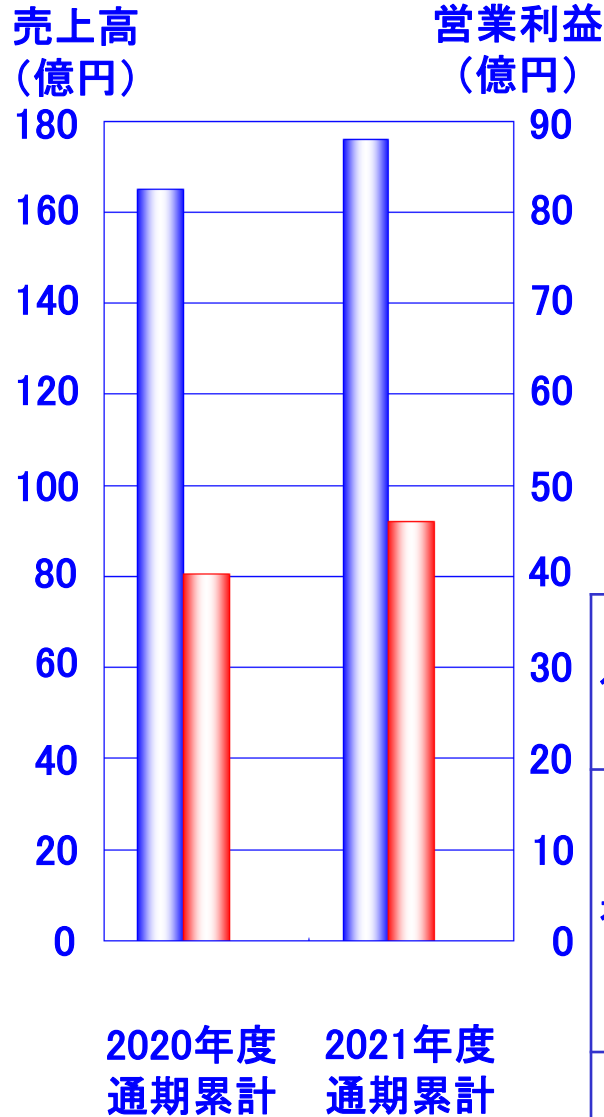
セグメント	2020年度	2021年度	前期比
機 能 性 色 素	16,503	17,581	+ 1,078
機 能 性 樹 脂	10,255	10,760	+ 505
基 礎 化 学 品	6,866	6,753	▲ 113
アグロサイエンス	5,554	4,838	▲ 716
物 流 関 連	1,848	1,780	▲ 67
そ の 他	171	164	▲ 7
合 計	41,199	41,879	+ 679

通期累計

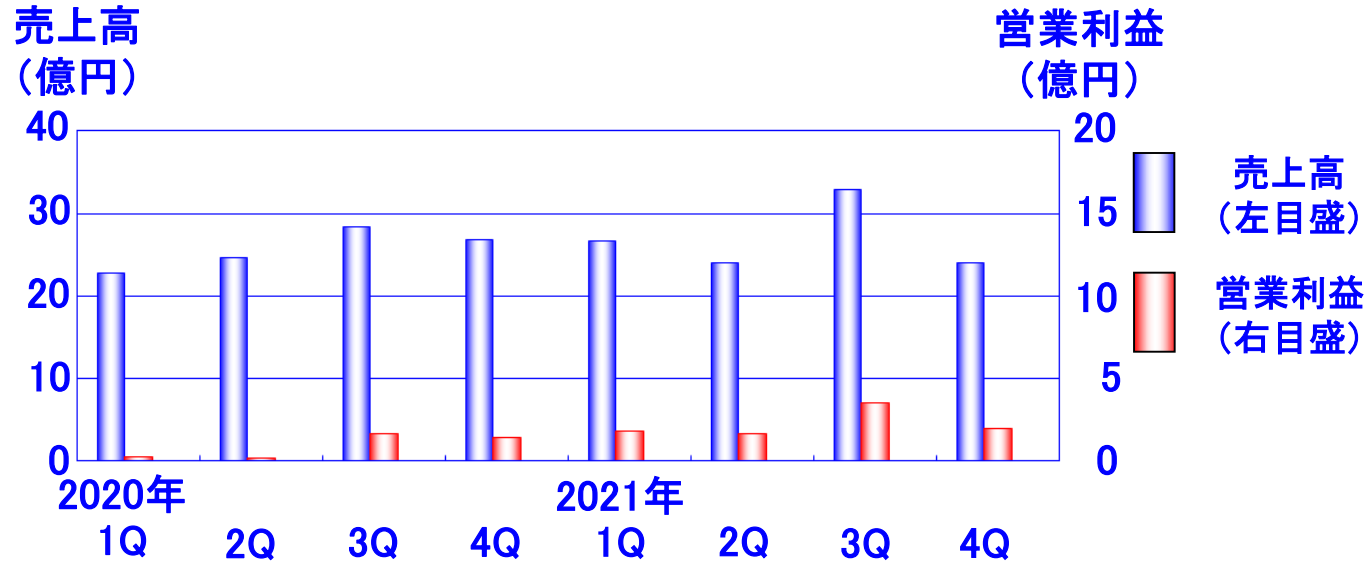
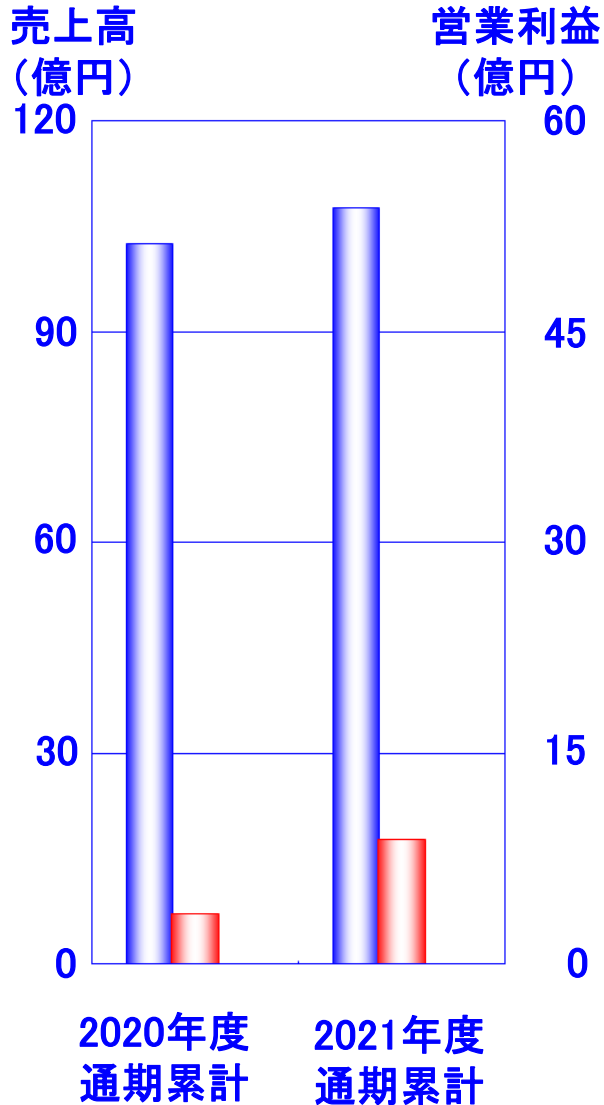
単位：百万円

表示：百万円未満切捨

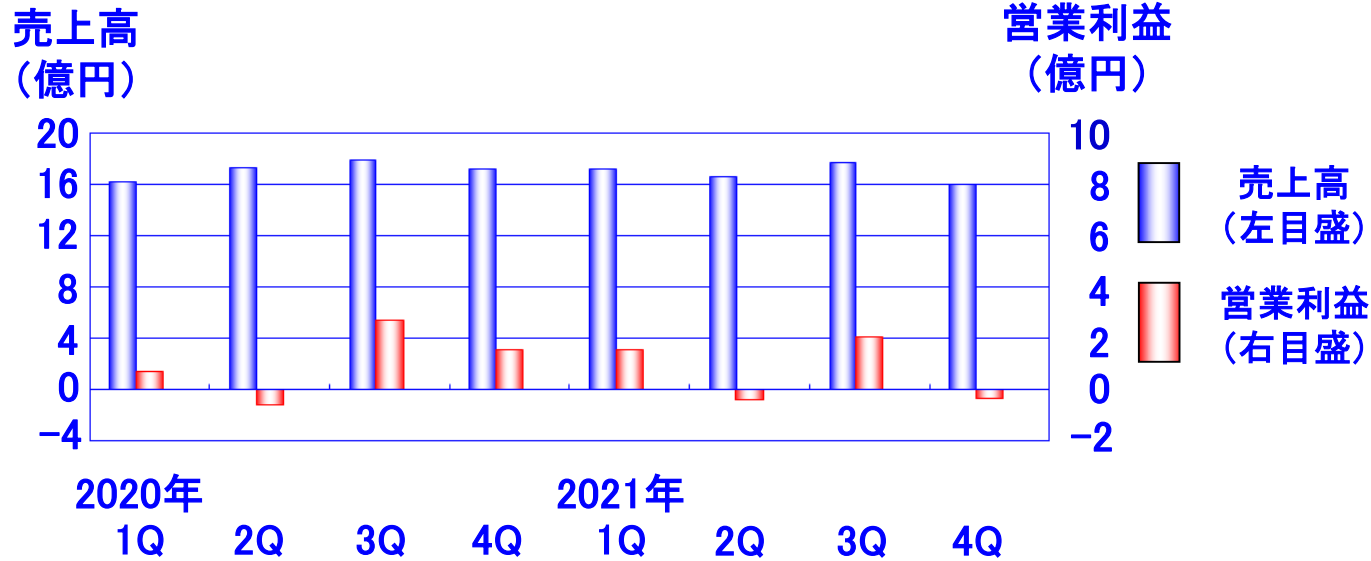
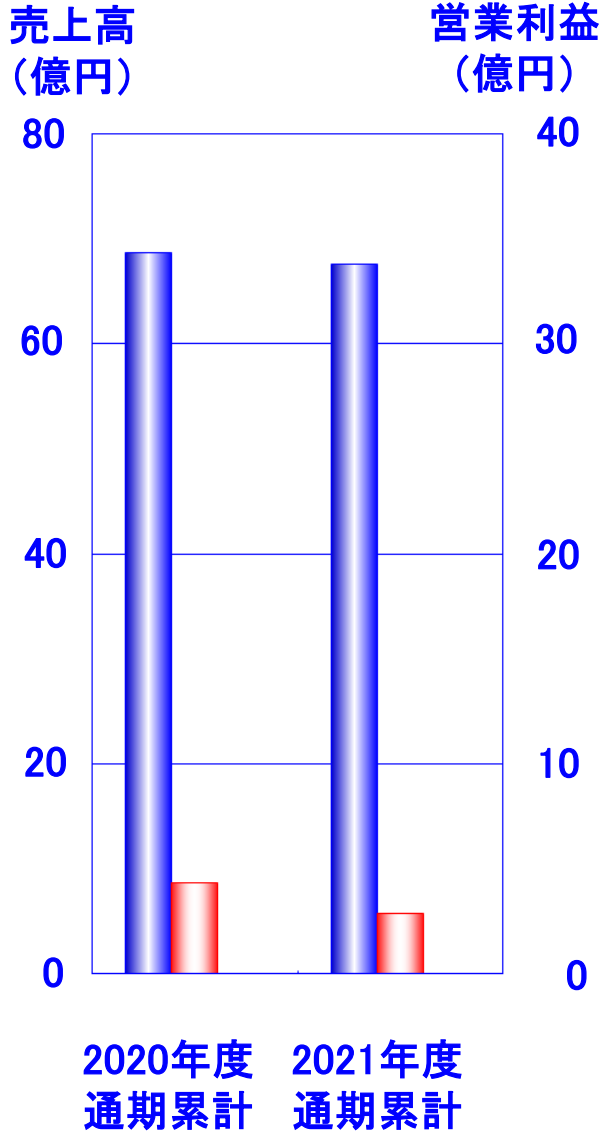
セグメント	2020年度	2021年度	前期比
機能性色素	4,028	4,598	+ 570
機能性樹脂	359	888	+ 529
基礎化学品	436	291	▲ 144
アグロサイエンス	222	330	+ 107
物流関連	361	298	▲ 62
その他	35	13	▲ 21
合計	5,444	6,421	+ 976



色素材料	・アルミ着色用染料でスマートフォン向けの販売が堅調に推移し、文具用染料もコロナ禍での需要減から回復したこと等により、増収	▲
有機EL材料	・スマートフォン向けディスプレイ分野において、有機ELパネルの需要が引き続き増加したことに加え、当社の子会社におけるPCR診断キット用材料で、前年度第1四半期での特需は収まったが、安定して販売を継続できており、有機EL材料事業全体としては大幅な増収	▲
イメージング材料	・プリンター向け材料の需要が段階的に回復したことにより、大幅な増収	▲



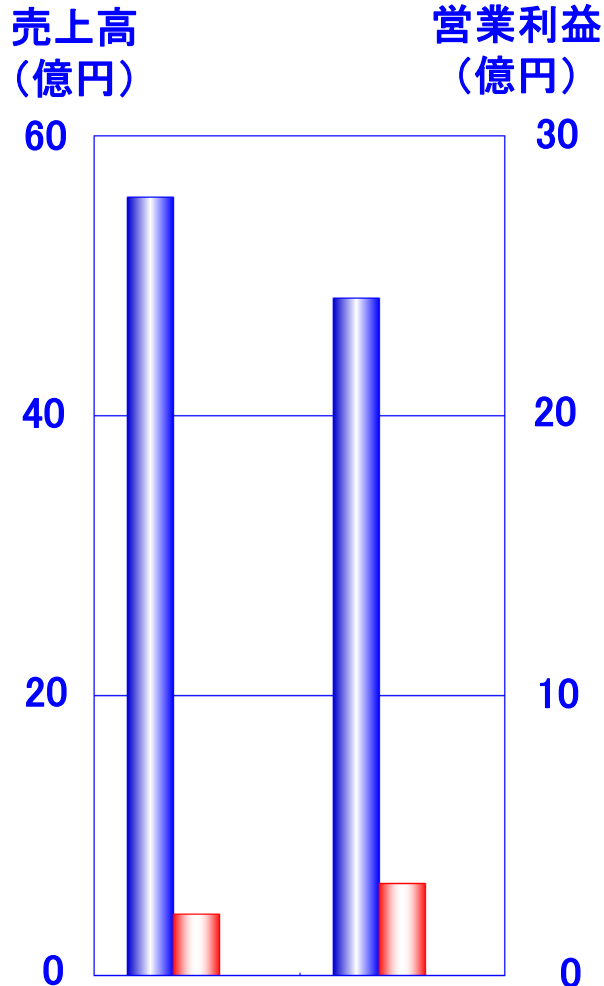
建築材料	・材料販売が好調に推移し、増収	↗
樹脂材料	・ウレタン原料での原材料の高騰に伴う値上げや、 タイヤ用接着剤でのコロナ禍からの需要回復等に伴い、 大幅な増収	↗
特殊化学品	・医薬向け及び剥離剤向け等が好調に推移したことから、 大幅な増収	↗



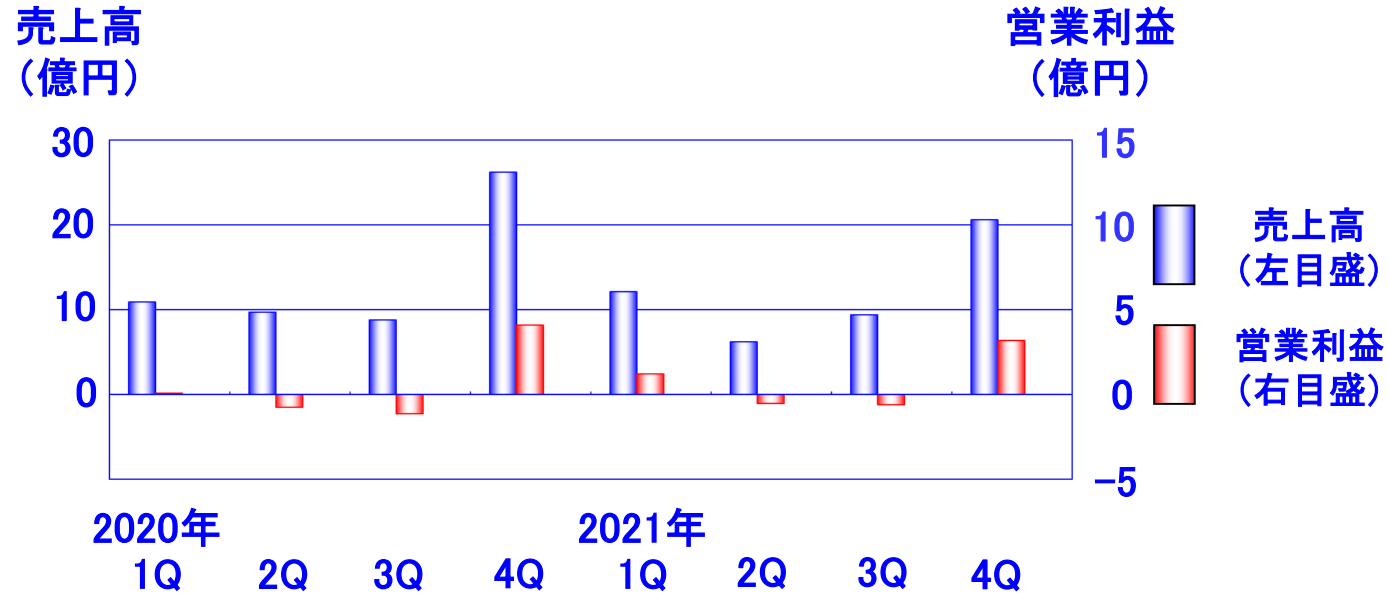
過酸化水素及び誘導品（※）

- ・過酸化水素は、紙パルプ向け等の需要がコロナ禍から回復したことに加え、工業薬品向けで半導体市場を中心に需要が好調に推移したことから、大幅な増収。
- 一方で、過酸化水素誘導品は、飲料ボトル洗浄向けや内視鏡除菌向けがコロナ禍での需要減から回復したものの、衣料用漂白剤や家庭用洗浄剤向けで一部設備の制約による生産量の落ち込みにより、減収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



2020年度 通期累計 2021年度 通期累計



アグロサイエンス

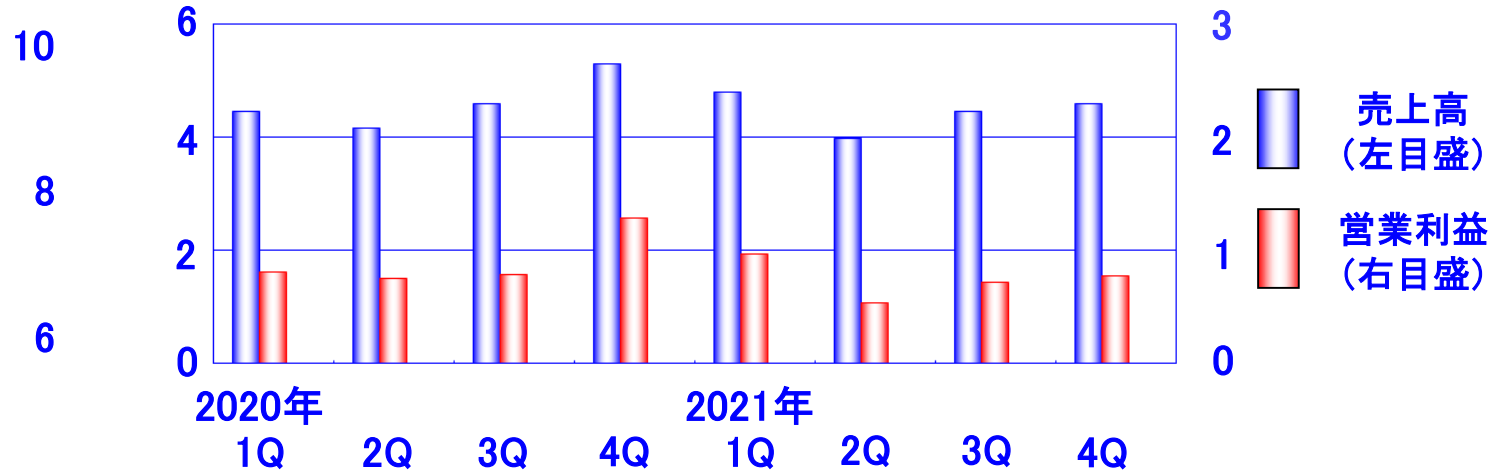
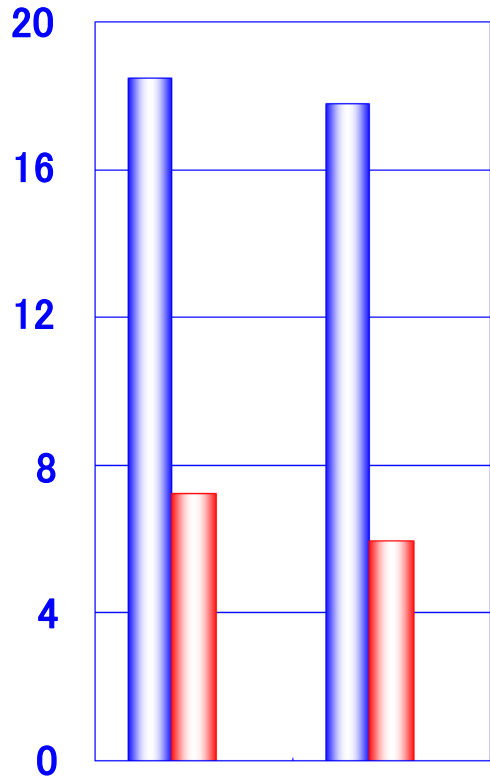
- ・家庭園芸向け除草剤の需要は引き続き拡大しており、増収となったが、ゴルフ場向け除草剤で顧客の在庫調整により販売が減少したこと等から、減収

売上高
（億円）

営業利益
（億円）

売上高
（億円）

営業利益
（億円）



物流関連

・コロナ禍からの経済活動再開に伴い、輸出の取扱量は堅調に推移したものの、大口顧客の保管量が減少したこと等により、前期並み

2020年度 通期累計
2021年度 通期累計

Ⅱ. 2022年度・業績および配当予想

・連結業績予想

(単位:百万円)

科 目	2021年度実績	2022年度業績予想
売 上 高	41,879	44,000
営 業 利 益	6,421	4,300
経 常 利 益	6,914	4,300
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	3,251	2,400

- ・売上高は、堅調な需要が見込まれる機能色素及び樹脂材料の販売の増加を見込んでおり、増収の予想
- ・営業利益は、PCR診断キット用材料の需要減及び原燃料価格高騰が予想されることから、減益の予想

・配当予想

年間配当：65円／株

＜中間：32.5円／株、期末：32.5円／株＞

「ステークホルダーへの還元に関する方針」に基づき内部留保と株主の皆様への還元のバランスを適切に図ることとしております。

配当については、株主資本配当率(DOE)の向上を長期的な課題と捉え、且つ、安定的・継続的で適正な株主還元の実施を重視し、2022年度の配当については、2021年度比で年間5円／株の増配を予定しております。